

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社  
 コード番号 9753 URL <http://www.ikic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部 経理部長

(氏名) 安藤 文男

(氏名) 石井 嘉範

TEL 03-6400-7000

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,466	—	△86	—	△75	—	△48	—
25年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△4.18	—
25年3月期第1四半期	—	—

平成25年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成26年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成25年第1四半期の経営成績(累計)及び前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第1四半期	8,617	—	3,614	—	41.9	—
25年3月期	8,943	—	3,736	—	41.8	—

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,614百万円 25年3月期 3,736百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,207	1.4	△16	—	△10	—	△1	—	△0.14
通期	15,142	0.1	308	62.4	315	44.4	260	37.7	22.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	13,034,660 株	25年3月期	13,034,660 株
26年3月期1Q	1,365,097 株	25年3月期	1,364,357 株
26年3月期1Q	11,669,916 株	25年3月期1Q	11,786,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

また、前事業年度で唯一の連結子会社でありましたアイケーネット株式会社の全株式を売却しております。このことにより、当事業年度(平成26年3月期)より連結財務諸表非作成会社となりました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、大胆な金融緩和や機動的な財政支出など、いわゆるアベノミクスを背景とした円安・株高の傾向が続いており、デフレ脱却や景気回復の期待感が高まっております。しかしながら、欧州の債務危機問題や中国・新興国の景気減速の懸念から、依然として先行きの不透明感が拭いきれない状況が続いております。

情報サービス業界におきましては、企業の業績が回復に向かう中、ようやく情報化投資についても底打ち感が出てきており、従来まで見送られてきたシステム構築の動きが活発になってまいりました。

このような状況において当社は、経営のスピード化を狙いとした新たな組織体制の下、採算重視の慎重な事業運営を堅持しつつ、新規顧客・新規案件の開拓、さらには既存事業の水平展開による案件獲得に積極的に取り組んでまいりました。

こうした中、金融・証券分野では証券取引所関連のシステム開発業務の拡大、通信分野では携帯電話キャリアにおける第三者システム検証業務の拡大など、既存顧客からの確実な案件受注が売上に寄与しました。また、銀行関連のシステム開発や生保関連のシステム再構築等の案件を確実に受注に繋げるため、積極的な提案活動を進めるとともに、社内の業務遂行体制の整備に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は3,466百万円となり、損益面では、営業損失86百万円、経常損失75百万円、四半期純損益につきましては、損失48百万円を計上いたしました。

なお、平成25年3月において唯一の連結子会社でありましたアイケーネット株式会社の全株式を売却いたしました。これにより当社は連結財務諸表非作成会社となりましたので、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ325百万円減少し8,617百万円となりました。これは主に資産の部では「現金及び預金」の減少180百万円、「受取手形及び売掛金」の減少407百万円、「仕掛品」の増加255百万円であり、負債の部では「未払費用」の増加108百万円、「賞与引当金」の減少278百万円を反映したものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ121百万円減少し3,614百万円となりました。これは主に「利益剰余金」の減少107百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の41.8%から41.9%となっております。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績及び現状の事業状況、事業環境を勘案した結果、概ね本年5月15日に公表しました業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

四半期会計期間に係る法人税等については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,512,028	3,331,207
受取手形及び売掛金	2,293,140	1,886,104
商品	—	9,375
仕掛品	333,725	589,328
繰延税金資産	361,908	390,506
その他	179,731	181,461
流動資産合計	6,680,533	6,387,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	136,728	132,783
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	83,779	83,802
土地	117,027	117,027
その他(純額)	6,049	—
有形固定資産合計	343,585	333,614
無形固定資産		
ソフトウェア	80,815	87,672
その他	19,279	8,689
無形固定資産合計	100,095	96,362
投資その他の資産		
投資有価証券	803,573	776,856
繰延税金資産	768,040	776,077
その他	248,293	247,145
貸倒引当金	△354	△176
投資その他の資産合計	1,819,553	1,799,903
固定資産合計	2,263,233	2,229,879
資産合計	8,943,767	8,617,862

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	462,528	409,885
1年内返済予定の長期借入金	407,496	407,496
未払金	417,189	402,550
未払法人税等	30,860	10,171
未払費用	10,145	118,154
賞与引当金	610,794	332,137
受注損失引当金	26,343	32,822
その他	231,743	411,287
流動負債合計	2,197,101	2,124,504
固定負債		
長期借入金	580,272	480,473
退職給付引当金	2,071,297	2,094,549
資産除去債務	61,228	61,545
長期未払金	296,860	241,592
その他	494	509
固定負債合計	3,010,151	2,878,669
負債合計	5,207,253	5,003,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,865,294	1,865,294
利益剰余金	922,308	815,131
自己株式	△347,118	△347,253
株主資本合計	3,621,381	3,514,068
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115,132	100,619
評価・換算差額等合計	115,132	100,619
純資産合計	3,736,514	3,614,688
負債純資産合計	8,943,767	8,617,862

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,466,141
売上原価	2,965,065
売上総利益	501,076
販売費及び一般管理費	587,754
営業損失(△)	△86,678
営業外収益	
受取利息	155
受取配当金	7,866
その他	6,343
営業外収益合計	14,366
営業外費用	
支払利息	2,747
その他	160
営業外費用合計	2,908
経常損失(△)	△75,220
特別利益	
会員権売却益	89
特別利益合計	89
特別損失	
固定資産廃棄損	68
その他	40
特別損失合計	108
税引前四半期純損失(△)	△75,239
法人税等	△26,414
四半期純損失(△)	△48,825



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。